

## 次世代の地域づくり中核人材育成事業

### 青年ファシリテーターを紹介します！

本事業は、地域活動に貢献している「青年ファシリテーター」の指導や助言をもとに、中高生が地域活動プログラムに取り組み、「次の世代の地域づくりリーダー」としての資質を高めることをねらいとしています。今年度は、三川町中高生ボランティアサークル「来夢来人(らいむらいと)」の皆さんと一緒に活動をしています。

今年度は、青年ファシリテーターを、4名の方から引き受けていただきました。庄内愛にあふれ、地域貢献への活動をはじめ、自分の夢に向かって挑戦し続けている皆さんです。5～6月にかけて実行委員会、企画会議を開催し、今年度の方向性や、地域活動プログラムの内容を検討しました。6月24日(土)に来夢来人の中高生と顔合わせをし、交流会を行いました。

三川町中高生ボランティアサークル「来夢来人」の皆さんが、自分で企画・運営をする活動を通して、楽しさや達成感を得られるように青年ファシリテーターと協力しながら、事業を進めていきます。

そして、地域貢献をする中で自分の地域の魅力により気付いてもらえるようにしていきたいと思えます。(担当:櫻井)



伊藤大貴さん 難波竜次さん 小林怜奈さん 五十嵐彦智さん

令和5年度 庄内地区青年ファシリテーターの皆さん

## 庄内地区スポーツ推進委員協議会総会・研修会

5月27日(土)に三川町を会場として庄内地区総会・研修会が開催されました。午前中は、3カ所に分かれて実技研修が行われました。3つの実技から2つを選択して体験しました。

【コーンホール】講師:三川町スポーツ推進委員 小笠原靖尚氏 富樫翔太氏 五十嵐雄大氏

【救命講習】講師:防災学習館講師 碓谷清一氏 小野山功氏

【スポーツチャンバラ】講師:工藤文男氏

講師の説明を真剣に聞いたり、ナイスショットに歓声が上がったりと充実した実技研修になりました。

午後は、三川町子育て交流施設テオトルで、総会と講演会と交流会が行われました。講演会では、庄内地区の長距離走分野をリードしている齋藤貴志氏から「箱根駅伝から得たもの」と題してご講演いただきました。齋藤貴志氏は箱根駅伝



で有名な東洋大学に進学し、第88回箱根駅伝ではアンカーとしてゴールテープを切った経歴の持ち主で、「目標に向かって努力し続けることの大切さ」「全国の舞台で活躍することの難しさ」等、競技者としての成功体験と怪我による苦い経験をおりまぜながら貴重なお話をいただきました。「初めての講演とは思えない」という参加者の言葉からもあるように大変興味深いお話で時間が過ぎるのがあっという間でした。1日を通しての開催は4年ぶりとなりましたが、三川町のスポーツ推進委員の方々や町担当者の多大なご協力により、大盛況に終えることができました。ご協力いただきありがとうございました。本研修会がスポーツを通じた地域の元気づくりにつながることを改めて実感しました。(担当:小関)



## こども環境デザイン研究所所長 絵本作家

### 矢生 秀仁 先生 講演・ワークショップ in 庄内

6月9日(金)、三川町子育て交流施設テオトルで、こども環境デザイン研究所所長で絵本作家の矢生秀仁先生を講師に迎え、午前と午後で2つの研修会を開催しました。

午前は、第1回庄内地区放課後子ども総合プラン指導者研修会でした。「子どもの遊びと環境づくり～わたしたちができること～」と題して、放課後児童クラブや放課後子ども教室等、子どもたちの放課後に関わる皆さんを対象に講演とワークショップを行いました。

前半は、現代の子どもたちを取り巻く環境について確認し、余白の少ない社会の中で生きる子どもたちにとっての放課後の重要性について再認識しました。また、身近な素材を使った造形遊びを実際に体験しました。後半は、参加者の皆さんが日頃感じている現場の悩みや課題について、解決のための考え方を整理しました。

矢生先生の子どもたちに対する情熱をたっぷりと感じ、今後の活動への活力となる研修会になりました。(担当:齋藤)

午後は、第1回家庭教育支援フォーラムでした。「子どもの育ちと学びの環境を考える」と題して、幼稚園や認定こども園、保育園等、家庭教育支援に携わる皆さんを対象に講演を行いました。

今の子どもたちは余白の少ない社会を過ごしているという事実と、そんな子どもたちに自己肯定感が育つ環境をつくる大人の役割について、新しい学びがあったという感想が、受講者からたくさん寄せられました。

子どもたちがのびのび育つには、乳幼児期や放課後における「遊びの時間」が重要だというお話がありました。遊びを通して培われた自分の価値観(自己決定、自己発見、自己評価等)は、「自分軸」が育つ人生の土台となります。遊び(人、もの、こと)との出会いの場をつくること、判断は子どもにゆだねること、教えないことなど、子どもの育ちや学びにつながる環境づくりのポイントをたくさん学ぶことができました。「教育のゴールとは、人を幸せにすること」という矢生先生のメッセージが心に残った研修会となりました。(担当:高橋)



先生方やPTA、社会教育サークルなどで作成した、授業で活用する作品、クラブ活動や総合的な学習等で作った児童生徒の作品、地元のサークルで作成した紙しばい等の自作視聴覚教材を募集します。

## 令和5年度 庄内地区自作視聴覚教材発表会

先生方やPTA、社会教育サークルなどで作成した、授業で活用する作品、クラブ活動や総合的な学習等で作った児童生徒の作品、地元のサークルで作成した紙しばい等の自作視聴覚教材を募集します。

応募した作品は、県コンクールへ出品することもでき、全国コンクールへとつながります！

【期 日】 令和5年10月19日(木) 13:30～16:30

【場 所】 酒田市総合文化センター(酒田市中央西町2-59)

【応募部門】 学校教育、社会教育、児童生徒作品

【種 別】 映像教材、デジタルコンテンツ、ホームページ形式の教材、紙しばい等

【作品内容】 山形県の自然、歴史、風土、伝説などに関する学校教育、社会教育で教材として利用できるもの

【申し込み】 9月29日(金)まで各市町教育委員会社会教育主幹課、または庄内教育事務所社会教育課へ

(担当:櫻井)



庄内教育事務所 社会教育課  
【公式】Instagram  
各種研修会、事業等の情報をお届けします。



庄内地区社会教育情報  
ホームページはこちらから →

